

第77回大手企業交渉が4月20、21日を中心に開催されました。政府が労働者への賃金アップを呼びかける中で、賃上げのみならず、現場の改善や原材料高騰・インフレ対策、コロナ対策などについて交渉しました。大手ゼネコン5社とハウスメーカー3社の交渉結果を報告します。

4・5%の賃上げ実現 麻布台現場について追求



清水建設との交渉

【共同デスク・苗村記者】清水建設（以下、清水）との交渉は、交渉団からは斎藤团长（埼玉建）はじめ14人、清水から11人の参加で行なわれました。

交渉団からの要請事項については、ほぼ前回と同内容の回答でした。物価高騰の影響について交渉団は「生活に直接影響を与えているので、相談に乗り、その上で発注者にも伝えてほしい」と訴えました。

賃金については、全体で4・5%の引き上げが実現したことについてその内容を探ると、「公共事業の引き上げと従来の単価では協力会社も引

き受けないことから、上昇している」と回答。清水の宮本会長が日連連の会長も務めているが、先陣を切って上げていくことは難しく、他のゼネコンと歩調を合わせて進めたいと述べると留まりました。

交渉では、清水が請うる麻布台A街区・B2街区についても発言がなされました。B2街区で起きた事実を現場が混乱し、仲間からの告発もあり「冷静な対応を」と組合が要請したところ、翌日の朝礼で謝罪がされたものの、「かん

口合が敷かれたことに対して、「命にかかわる問題ではないか」と追及がありました。清水は「調査もされており、外部に面白おかしく言わないようにという趣旨だったと捉えている」と述べました。

交渉団側は「清水内部でのパワハラの話も寄せられており、仲間が清水を心配している」と指摘。「パワハラについては恥ずかしくならなくない」といいます。研修を重ねてきた」と答えました。

材料高騰は個別対応 CCUSで適切賃金目指す



鹿島建設との交渉

【共同デスク・本田記者】鹿島建設（以下、鹿島）との交渉は、松本团长（東京都連）を先頭に、交渉団側15人、鹿島から7人の参加で行なわれました。

はじめに原材料の高騰による契約金額の変更については、両前払いはしていない。個別の交渉は現場ごとに行なっている。「鹿島が赤字になることもあるが、払うものは

か、今回は数字を目で見ながら「標準単価をええたら改善された」という報告をいたされた」と意を押ししました。関連して「年ぶりに10%アップの話があったが、日給月給では週休2日で計算すると年収が下がると、平均賃金額から計算すると週休2日どころか4週6閉所されていない。20%、30%、単価を上げないと週休2日に対応できない」「設計労務単価は50%上がった。職人に渡りよう下請へ元請責任で追求するべき」と要望しました。

現場告発では、現場を知らない派遣の監督が管理している」と指摘。大林は「派遣の監督の質が悪いわけではない、現場寄りではない傾向が

あを感じる。我われも気にしている」と回答。仲間から「私の現場も派遣の監督だった。普通は仕事を任せようとして、普通は管理できておらず、要が管理できておらず、

見積要綱の書き方検討
パワハラ調査と対応約束

元請責任で単価アップを 現場寄りの監督を要望



大林組との交渉

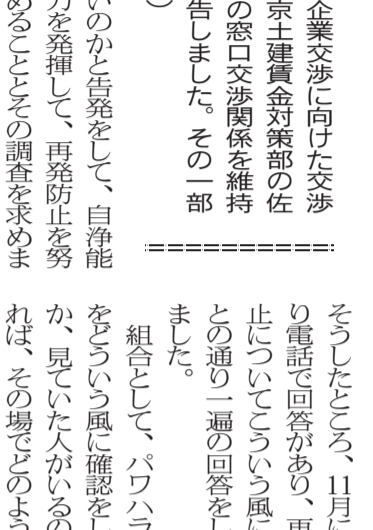
【共同デスク・岡田記者】大林組（以下、大林）との交渉は、菅原团长（東京都連）を先頭に26人、大林組から9人が参加しました。

今回の交渉は、現場を知らない派遣の監督が管理している」と指摘。大林は「派遣の監督の質が悪いわけではない、現場寄りではない傾向が

あを感じる。我われも気にしている」と回答。仲間から「私の現場も派遣の監督だった。普通は仕事を任せようとして、普通は管理できておらず、

見積要綱の書き方検討
パワハラ調査と対応約束

元請責任で単価アップを 現場寄りの監督を要望



大成建設との交渉

【共同デスク・曾我記者】大成建設（以下、大成）との交渉は、荒井团长（神奈川県連）を含め9人が行なわれました。

冒頭、前回交渉で求めた現場でのコロナ対策が改善されたことについて、交渉団から感謝を述べました。

現場排除について、大成側はなにかと理由をつけては、先ず、前回は「設置を検討する」としていたハラスメント

現場排除について、大成側はなにかと理由をつけては、先ず、前回は「設置を検討する」としていたハラスメント

現場排除について、大成側はなにかと理由をつけては、先ず、前回は「設置を検討する」としていたハラスメント

現場排除について、大成側はなにかと理由をつけては、先ず、前回は「設置を検討する」としていたハラスメント

書面でパワハラ謝罪 交渉機構の確立にむけ前進

【共同デスク・水垣記者】「働き続けることに不安を抱える職人が多い。千葉県で25歳未満の若者が60人しかいない。前を向って働ける回答に期待している。鈴木团长（千葉県連）の挨拶で始まった竹中工務店（以下、竹中）との交渉。

他社にはないレベルで賃金が必要との要求に対しては、「ばらつきはあるが前年同月から3%程度上がっている」と回答がありました。

技能レベルの評価については、CCUSを基準とし、レベル別の普及により、業界全体で技能者の処遇改善につなげていく必要があると考えている。レベル別判定事務手数料の費用の助成を進めることで、技能者の能力、レベルに応じた適切な賃金の実現を目指すとの回答について、

「日建連の指針を踏まえ、100%を目指し方針を出している。稼働日の減少が収入減少になることが課題だと認識しているとの回答でした。

あを感じる。我われも気にしている」と回答。仲間から「私の現場も派遣の監督だった。普通は仕事を任せようとして、普通は管理できておらず、

見積要綱の書き方検討
パワハラ調査と対応約束

現場告発では、現場を知らない派遣の監督が管理している」と指摘。大林は「派遣の監督の質が悪いわけではない、現場寄りではない傾向が



竹中工務店との交渉

いですが、交渉の本丸である「賃金引き上げ」は「雇主への単価交渉は上手くいっていない。特に労務単価は理解されにくいと言われている。危機感を保持している。全建総連からアドバイスをいただいて頑張りたい」と、切迫した答えにとどまりません。

「週休2日を希望する従業員も前回調査より10%増え、社会の風潮を実感。しかし、雇主との話し合いも遅れ、4週8閉所は進まずゼネコン各社でも最下位。朝礼の簡略化など「鋭意努力中」と苦しい回答がありました。

CCUSカード不所持などの現場排除問題については「一切しない。労災保険特別加入のお願いはしているが、日額の確認などはしてない」。次回企業交渉では、要請を増やせる会場確保の要望が承諾され、多くの現場従業員の生の声を届けることを伝えました。

和ハウス 材料値上げ対応を 二次以下の交渉は平行線



和ハウスとの交渉

【共同デスク・古木記者】和ハウス（以下、和ハウス）との交渉は、石川团长（東京都連）を先頭に、交渉団側10人が参加。大和側は7人が対応しました。

まず、前回は「設置を検討する」としていたハラスメント

積水化学 単価アップで賃上げを 免税業者への配慮を



積水化学工業との交渉

【共同デスク・設楽記者】積水化学工業（以下、積水）への交渉は山口团长（建設化学工業）が参加した。

積水化学側からは5人が参加した。賃金引き上げについて「作業の効率化や完工の標準化で、施工棟数を増やすことで賃金増やしている」と回答。「レベルで賃金を上げようとして、なせ賃金・単価を上げようとしたのか。業界トップランナーとしての意識を持ってほしい」と仕事量増加でなく、単価上昇による収入アップを訴えた。

材料費高騰への対応について、交渉団側の下請業者が価格高騰のしわ寄せを被らないようにとの訴えに、積水化学側は「下請業者には、価格の動向を考慮して適切な請負金額を決定している。基準は、基本的に各社の代金を確認している。単価が決まっている部材も、『この単価では買えない』という意見が現場から飛んで来手詰。

詰将棋の解答
▲3五角△二玉▲二銀△同飛▲一三角成△同玉▲四飛マ7手詰。